

《Q》生成AI導入について市はどう考えているか

《A》8月17日から、全庁的な運用を開始した



秋山 義徳 議員（新国会）

市の生成AI活用について

質問 ChatGPTに代表される生成AIについての市の考えは。

市長 生成AIの活用により職員の業務時間の削減や効率化を図ることができ、削減できた時間や労力は、更なる市民サービスの充実に振り向けることが可能となるなどの効果も期待できる。市では、生成AI利用検討会を立ち上げ検証作業を行い、全庁的な活用を推進すべきと意見が一致した。この結論を受け、活用上のルールをまとめた「羽村市生成AI利用方針」を定め、8月17日から、全庁的な運用を開始している。

市内農業の維持・保全・発展について

質問 市内農業と農地を守るための市の取組みは。

市長 生産緑地制度及び特定生産緑地制度の活用、地産地消の推進、安全・安心な市内産農産物の販売の場の提供など、さまざまな支



収穫が近い羽水田

援に取り組んでいる。今後も、農業経営の継続と都市農地の保全に向けて、農業団体や農業委員会と緊密に連携し、取り組んでいく。
質問 減っていく水田をどう維持していくか。
市長 市内唯一の水田の羽水田は、極めて重要な地域資源である。農業委員会の協力のもと、水田の維持・保全に取り組んでいく。



《Q》父親も育児当事者。母親・父親両方の手厚い支援を！

《A》子育て家庭全体を対象とした情報や支援の充実を図る



大塚 あかね 議員（令和かがやき（立憲・無所属））

「父親の育児支援」により手厚い「支援」を求める

男性が育児をすることが当たり前になりつつあるにも関わらず、子育て支援策は母親中心に展開されている。父親への育児支援をより手厚くする必要がある。

質問 父親学級など父親に特化した教育を実施しては。
市長 両親学級等に夫婦で参加する機会を増やしているよう取り組む。

質問 10人に1人が発症する男性の「産後うつ」。対策をとるべきでは。
市長 保健師が父親の精神的な不調を把握した場合には「妊産婦メンタルヘルス相談」の利用を促している。

質問 父親も子育て当事者



家族写真館(羽村市公式サイトより)

である。母親・父親両方の支援施策の展開が必要では。
市長 父親にも十分な情報や支援が行き届くよう、子育て家庭全体の支援のより一層の充実を図る。

公共施設の男性トイレにサニタリーボックスの設置を望む

質問 病気治療の影響や、加齢により尿漏れパットを使う男性は処理に苦慮している。またLGBTの観点からも公共施設の男性トイレにサニタリーボックスを設置しては。
市長 施設の状態を考慮し設置に向けた検討を進めていく。

■その他の質問
「こみ出しサポート事業（仮）」の実施について再度問う



《Q》あさひ公園等公園管理の改善を

《A》指定管理者と連携し、対応に努める



市民の声について

質問 あさひ公園等の枯れ枝、落ち葉、ごみ等の管理の改善を行うべきでは。

市長 市民のニーズに、より柔軟かつ迅速に対応すること、施設や樹木などの適切な維持管理が課題である。指定管理者と連携して対応に努める。

菅 勇真 議員（双葉会）

質問 一人暮らしの高齢者への見守り、安否確認などの支援は。

市長 友愛訪問員の定期的な訪問や民間事業者の協力を得た見守り活動等を行っている。ICT等を活用した見守り事業を行う自治体もあり、新たな見守りや安否確認の方法も検討していく。



集めても撤去されないあさひ公園の枯れ枝

羽村市の教育について

質問 不登校児童・生徒に対する支援と対応策は。

教育長 スクールカウンセラーを全校に配置するとともに、教育相談員やスクールソーシャルワーカーによる巡回相談を実施し、組織的な支援体制の強化をしている。また、別室登校の環境整備を行い、東京都の別室指導支援員配置事業を活用しながら支援体制の強化を図っている。

羽村市の活性化について

質問 若者世代を中心に、羽村の未来について意見を聴取する場を設けては。

市長 はむら若者フォーラム、羽村若者「輝」会議などを開催してきた。若者も対象とした事業を通じて、若い世代の意見を聴取し、市政運営やまちづくりを生かしていく。



《Q》新入部員の募集停止をしている部活動はいくつか

《A》4つの部活動である



鈴木 拓也 議員（日本共産党）

過渡期にある中学校部活動で、廃部などが起きないように特別対策をとろう

教員の負担軽減が必須となる中、学校が支えきれず、部活動の縮小が起きている。
質問 今年度、新入部員の募集を停止している部活動はいくつか。

教育長 一中のソフトボール部、三中の文芸部、女子バスケットボール部、陸上競技部の4つである。

質問 学校の枠を越えて合同で活動している部活動はどこか。

教育長 一中、三中のサッカー部である。

質問 外部指導員、部活動指導員は、どう活用されて

いるか。

教育長 外部指導員は技術面の指導を行っている。部活動指導員は実技指導や大会への引率、保護者への連絡などを行っている。

質問 部活動の縮小をまねかないよう、特別対策をとるべきではないか。

教育長 存続が困難な部活動には、地域活動への移行とあわせ、合同部活動の実施を進めている。

共産党市民アンケートでの提案「児童館を中高生の居場所として活用したらどうか」を提案する

質問 提案をどう考えるか。
市長 国が策定を進める「こどもの居場所づくりに関する指針」の内容に応じ、

中高生を含む全ての子供たちの居場所づくりについて検討していく。

■その他の質問
情報提供を十分に行わない横田基地・国への対応を強化しよう



《Q》はむら市民と産業のまつりはこれからも秋に開催か

《A》今年度の結果を検証し、開催方法や内容を検討する



馳平 耕三 議員（令和かがやき（立憲・無所属））



「はむら市民と産業のまつり」として開催されることになる産業祭(写真は令和3年度)

市民に親しまれたイベントの変更はより丁寧な説明と今後の方針を示すべき

質問 産業祭に、はむら夏まつりの一部を取り入れるものがあるが、取り入れるものと取り入れないものは何か。

市長 「市民参加」を取り入れたイベントの開催を計画している。現在、具体的な事業内容は検討している。
質問 夏祭りは、本年、多くの自治体で復活し、多くの人が集まり、市民の期待も大きかった。「はむら市民と産業のまつり」として、これからも秋に開催か。
市長 今年度の実施結果を検証し、開催方法や内容な

どについて検討していく。

質問 関係者の現状、事業の有効性などから廃止する方向となったのは何故か。

市長 町内会連合会から、3分の1の町内会・自治会が選手の確保や参加者の高齢化に伴う負担感の増大などから参加が難しい意向である旨の報告があり、町内会・自治会を主体とした現行の開催は困難と判断した。

質問 町内会単位の競技主体ではなく、より多くの市民が参加可能な体育祭の開催も可能だったと考えるかどうか。
市長 今後、時代に即した新たな市民参加のスポーツイベント開催について検討していく。

■その他の質問
羽村市史編さん事業はいつまで続くのか／耐震化促進事業充実と防災訓練の在り方の見直しを



《Q》区画整理範囲内の未補修道路も補修すべきでは

《A》道路の劣化状況等を踏まえ補修を行う考えである



浜中 順 議員（日本共産党）



補修予定の羽村駅西側の長岡街道踏切付近

道路の改修・補修の強化を

質問 区画整理範囲内ということで延期されている未補修道路も安全を確保できるように、必要な補修をすべきでは。

市長 道路の劣化状況等を踏まえ補修を行う考えであり、今年度は、羽東一丁目、長岡街道踏切に接する市道第103号線を工事する予定である。

質問 令和4年度までの前の道路整備計画の達成率は何パーセントか。また、その低さの原因は何か。
市長 厳しい財政状況の中で、緊急性、必要性などの優先順位を見極め取り組んだ結果、進捗率は37・8パ

ーセントであった。

区画整理事業は現道を生かして大幅な経費削減・権利者の負担軽減を（第2弾）

質問 検証に基づく基本方針および「提言」に示された①羽村駅西口駅前の優先的整備、②一部地区への区画整理以外の整備手法の導入、③不要移転棟数を増やし事業費を削減する方策の検討は、どう進んでいるか。

市長 仮住まいの方の返地を最優先に事業を実施していく。第一に権利者の負担軽減を考慮し、引き続き検討を進めていく。
質問 9月末に一定の市の方針が出た後に、その方針と今後のあり方について、権利者や市民に対して説明会を開くべきでは。

市長 今後の都市基盤整備の進め方が決定した段階で、必要に応じて検討していく。



《Q》電動キックボードに対する安全対策の周知を

《A》交通安全講習会や広報はむらを通じ周知・啓発していく



野崎 和也 議員（新政会）

道路交通法改正に伴う電動キックボード及びタンDEM自転車に対する安全対策と普及促進について

電動キックボードについて

質問 道路交通法が改正され、電動キックボードのうち、一定の基準を満たすものは、運転免許証が不要だが、ナンバープレートの取り付けが必要となった。認識不足による違法行為の防止や交通安全について、周知が必要では。

市長 交通安全講習会や広報はむらなどを通じて、交通ルールやマナーについて、周知・啓発をしていく。
質問 16歳以上であれば運転ができ、運転免許証は不要である。近い将来、16歳



東京都の電動キックボード安全利用啓発リーフレット

に達する中学3年生を対象とした講習を実施してはどうか。

市長 中学生に対しては各中学校が実施している交通安全に関する指導・教育の中で、電動キックボードの特性やルールなどを周知し、事故防止に繋げていきたい。タンDEM自転車について

質問 視覚障害者の移動手段の幅を広げ、さらに高齢者の健康増進にも期待がされているタンDEM自転車の講習を福祉施設等で実施すべきではないか。

市長 今後の利用状況を注視し講習会開催の必要性について調査・研究していく。

■その他の質問
時代に則した学校プールの在り方



《Q》都市計画決定変更の検討なら権利者の声は反映するか

《A》変更なら公聴会などが定められている



山崎 陽一 議員（世論）

区画整理撤回要求第65弾

質問 厳しい財政状況で事業完了は可能か。

市長 整備手順や事業費削減の方策の検討を進めている。

質問 都市基盤整備の検討が都市計画決定変更なら、権利者の声を反映するか。

市長 都市計画決定変更の法的手続きは公聴会の開催や意見書提出が定められている。

質問 東京都と調整中という。滞るとしたら何が課題か。

市長 現段階で調整はしていない。早期に都市基盤整備の進め方を都に報告する必要がある。

質問 都市づくり公社の理事長は元東京都副知事。公



仮住まい者の移転先使用時期は不明、という事業現場

社への事務費総額とこれまでの支払い額は。

市長 総額約57億円。これまでに約26億円支払った。

質問 現計画で都市計画道路2路線の完了時期と取り壊し移転の棟数は。

市長 移転協議と用地確保を進めているが、完了時期や移転棟数は示せない。

質問 中断移転者の換地先使用が最優先ならば、棟数と使用可能年度は。

市長 昨年度末で175棟移転。使用可能年度は整備状況が異なり示せない。

質問 今年度で実施計画終了。優先道路整備と中断移転者解消には何年かかるか。

市長 市全体の行政運営の中で事業を精査し、優先整備範囲を示していく。年数は一概にお答えできない。

質問 仮に4年間延長なら市費60億円、うち借金35億円。財政悪化の中で可能か。
市長 市全体の行政運営の中で示していく。



《Q》介護保険料の引き上げは避けるべき

《A》具体的な額は審議会答申を踏まえ検討していく



門間 淑子 議員（市民ネットワーク）



高齢者への介護サービス

誰もが安心して利用できる介護サービスを

質問 65歳以上、75歳以上の一人暮らしまたは夫婦2人暮らしの世帯数は。

市長 令和2年度の国勢調査結果で、65歳以上の一人暮らし世帯は2883世帯、夫婦2人暮らし世帯は2623世帯。この内、75歳以上の一人暮らし世帯は1607世帯、夫婦2人暮らし世帯は1071世帯となっている。

質問 介護サービスや相談体制について、市民に情報は届いているか。

市長 広報による情報発信、高齢福祉介護課や地域包括支援センターで介護保険の

利用手引きを配布し、65歳に達した方には介護サービスの利用案内等を被保険者証に同封して郵送している。

質問 高齢者虐待の事例把握や迅速な対応は。

市長 通報を受けた際は直ちに情報収集と事実確認を行い、緊急性の判断や対応を決定。関係機関と役割分担し、適切に対応している。

質問 施設入所待機者数は。

市長 市民の待機者は、本年7月で特別養護老人ホームが55人、介護老人保健施設が5人である。

質問 今後、介護保険料の引き上げは避けるべきでは。

市長 高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画に定める介護保険料について、審議会で審議している。具体的な額は答申を踏まえ検討していく。

■その他の質問
羽村駅西口土地区画整理事業は、権利者の意見を聞いて見直しを



《Q》電動アシスト自転車の購入補助制度を導入しては

《A》現時点では実施は考えていない



池澤 敦 議員（新政会）

電動アシスト自転車を活用した子育て支援・高齢者の外出支援について

質問 電動アシスト自転車購入補助制度について、過去に「導入する考えはないが、社会状況の変化などがあればまた、違う考えもある」との答弁があった。その後、新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰が続くなど、社会情勢が変化している。補助対象者・補助金額等に一定の条件を設けるなどし、制度を導入する考えはあるか。

市長 個人の移動手段は、ライフスタイルなどによりそれぞれ異なる。現時点では実施は考えていない。**フィルムコミッション事業を推進し、知名度の向上を**

フィルムコミッション専用ウェブサイトを開設している近隣市がある。市でも開設すべきと考える。

質問 専用ウェブサイトに

ついて、過去に「独自のサイトをつくることを検討す

る」旨の答弁があった。約10年が経つが、現在の状況は

市長 専用ウェブサイトを開設していないが、市公式サイトにて広報を行っている。羽村市観光協会と連携を図る中で、フィルムコミッション事業の進め方を協議していく。今後はロケーション撮影に適した市内の施設や風景などの動画を活用した情報発信を強化し、フィルムコミッション事業の推進に取り組む。



現在のフィルムコミッションページ
（羽村市公式サイトより）



議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に
関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

令和5年8月1日～令和5年10月31日の主な活動

8月

- 1日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
- 3日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会
■ 東京都市議会議長会理事会・定例総会
- 4日 ■ 令和5年西多摩地域広域行政圏協議会審議会
■ 文教厚生委員会行政視察(三鷹市)
- 16日 ■ 第4回議員全員協議会
- 17日 ■ 文教厚生委員会市民インタビュー(放課後子ども教室)
- 21日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会陳情行動(国あて)
- 24日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会陳情行動(都あて)
- 28日 ■ 第4回議会運営委員会
■ 第1回羽村市議会改革推進委員会

9月

- 5日 ■ 第3回羽村市議会定例会(初日)
- 6日 ■ 第3回羽村市議会定例会(2日目)
- 7日 ■ 第3回羽村市議会定例会(3日目)
- 8日 ■ 第3回基地対策特別委員会
- 11日 ■ 一般会計等予算審査特別委員会(補正予算)
- 12日 ■ 第3回羽村市議会定例会(4日目)
■ 令和4年度一般会計等決算審査特別委員会
- 14日 ■ 第3回総務委員会

- 15日 ■ 第3回環境まちづくり委員会
■ 第5回文教厚生委員会
- 20日～22日
■ 令和4年度一般会計等決算審査特別委員会
- 26日 ■ 第5回議会運営委員会
■ 第2回羽村市議会改革推進委員会
- 28日 ■ 第5回広報委員会
- 29日 ■ 第3回羽村市議会定例会(最終日)
■ 第5回議員全員協議会

10月

- 2日 ■ 西多摩地区議長会議員研修会(瑞穂町)
■ 西多摩地区議長会定例会議
- 4日 ■ 議員研修会(普通救命講習)
- 6日 ■ 基地対策特別委員会行政視察(航空自衛隊横田基地)
- 10日 ■ 第6回広報委員会
- 23日 ■ 第34回東京都道路整備事業推進大会
- 24日 ■ 令和5年第2回東京たま広域資源循環組合議会定例会
- 24日～26日
■ 第18回全国市議会議長会研究フォーラム in北九州
- 30日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
- 30日・31日
■ 環境まちづくり委員会行政視察(静岡県浜松市・長野県飯田市)

ぎかいのトビラ 第143号のお詫びと訂正

第143号(令和5年8月1日発行)の2ページに掲載の市民インタビューのお名前に誤りがありました。正しくは、清家知代さんです。お詫びして訂正いたします。

しぎかいカレンダー

●第4回定例会(12月)の予定●

日	月	火	水	木	金	土
			11/22 陳情メ	23	24	25
26	27 議運	28	29	30	12/1	2
3	4	5 本会議	6 本会議	7 本会議	8 本会議	9
10	11	12 予特 (補正)	13 常任委	14 常任委	15	16
17	18 議運	19	20	21 本会議	22	23

- 陳情メ…請願・陳情の12月定例会審議予定分の締切
- 議 運…議会運営委員会
- 常任委…常任委員会（総務、環境まちづくり、文教厚生）
- 予特（補正）
…一般会計等予算審査特別委員会（令和5年度補正予算）

※会議の予定は変更になる場合があります。
詳細は議会事務局までお問合せください。

議会を見よう！知ろう！

～次の定例会は12月～

以下の方法で議会をご覧いただけます。

- 1 議場で傍聴 ライブで！**
感染症対策により、傍聴者の健康を守る観点から、議場にお越しになる際は、咳エチケットや手指消毒などのご協力をお願いします。
傍聴の受付は、4階議会事務局で行っています。
- 2 ケーブルテレビで生中継**
多摩ケーブルネットワーク(TCN)で、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください。
- 3 インターネットで録画中継**
開催日の3日後(土・日曜日、祝日を除く)から、インターネットで録画中継を見ることができます。
- 4 会議録で読む**
会議終了後2か月程度で会議録ができていきます。冊子または、羽村市公式ウェブサイトから見るることができます。

羽村市公式サイト

<https://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽村市議会

検索



編集後記

9月に開催される定例会は、決算議会とも言われ、前年度決算の審査が行われる。現在、議案などの資料はタブレット端末の中にデータが保存されており、膨大な量の決算資料と事務報告書を確認しながら、質疑や討論を行う。資料を読み込んでいくと、400人弱の羽村市職員が市民のために職務を遂行した証であることを改めて感じる。さらに、過去の会議録を調べていると、当時の職員たちの姿が浮かびあがってくる。3日間にわたり活発な質疑を交わし、決算の審査を行い、すべての会計の令和4年度決算を認定した。これからは市民生活に関わる課題等について、調査、審議を行い、市民が笑顔で過ごせるよう努めていきたい。

(濱中)

【広報委員会委員】

富永 訓正(委員長)
濱中 俊男(副委員長)
池澤 敦 野崎 和也
金子 ひとみ 高田 和登
浜中 順 大塚 あかね

発行/羽村市議会 編集/広報委員会

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042 (555) 0889
Tel 042 (555) 1111 (内線412~414)



「ぎかいのトビラ」は、再生紙を使用しています。